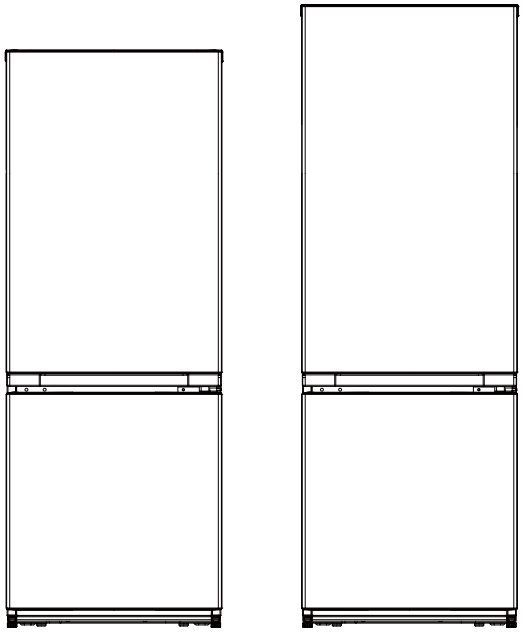
Comfee

室内・家庭用

# 冷凍冷蔵庫

# 取 扱 説 明 書

## 保 証 書 付 （裏表紙）



RCB156DS1JP(E)　RCB170DS1JP(E)

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

## ご使用の方へ

お買い上げのお客様へ
このたびはお買い上げ頂きまして、まことにありがとうございます。
この商品を安全にご使用していただくため、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
ご使用前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
「保証書」は「お買い上げ日」「お買い上げ店」などの記入を必ず確かめ、大切に保管してください。
製品改良のため、予告なく設計・仕様を変更することがあります。詳しくは、販売店またはメーカーにご相談ください。
今後の参考のため、製品の背面または右側のコンプレッサー室の上に書かれた製品の型番と製造番号を、下にご記入ください。

型番＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

製造番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

## もくじ


**1.安全上の注意 ..... 3**

**2.準備する ..... 8**

2.1 ご使用になる前の準備 ..... 8
2.2 据え付ける時 ..... 9
2.3 アース線を取り付ける ..... 9
2.4 部品の名称 ..... 10
2.5 温度調整について ..... 11

**3.お手入れ ..... 12**

3.1 全体の清掃 ..... 12
3.2 霜取り ..... 12
3.3 こんなときは ..... 12
3.4 ガラス棚の取り外しかた ..... 13
3.5 ドアポケットの取り外しかた ..... 13
3.6 氷の作りかた ..... 13

**4.お困りのときは ..... 14**

**5.仕様 ..... 15**

**6.保証とアフターサービス ..... 16**

# 1.　安全上の注意

## 必ずお守りください

本製品は一般家庭用です。
本製品を正しく安全にお使いいただき、お使いになる方や周囲の人への危険や損害を未然に防止するため、必ず守る必要な事項を説明しています。
本製品をご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

## 図記号の意味

| | |
|---|---|
| 警告 | この表示の注意事項を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険性がある内容を示しています。 |
| 注意 | この表示の注意事項を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害及び物的損害が発生する危険性があることを示しています。 |

禁止を示す記号です。　　指示を守る記号です。

警告

## 安全に設置する

| | |
|---|---|
| 禁　止 | ● **背面・側面などの冷媒回路（配管）を傷付けない**<br>冷媒が漏れ、発火・爆発の原因になります。傷ついた場合は冷蔵庫に触れず以下の事項を行い、お買い上げの販売店にご連絡ください。<br>• 窓を開けて室内の換気を十分にする。（換気扇を使用しない）<br>• 火気や電気製品の使用を避ける。 |
| アースを接続 | ● **必ずアースを取り付ける**<br>ご使用前に必ずアースを取り付けてください。アースを取り付けないと、故障したり漏電したときに感電するおそれがあります。アース線は別売りです。付属していません。<br>● **湿気の多い場所・水気のあるところで使用する場合はアース（接地）のほかに漏電遮断器を設置する**<br>感電や漏電の原因になります。 |
| 必ず守る | ● **機器の囲い又はビルトイン構造では、障害物をなくし、通風口を確保する**<br>故障や火災の原因になります。<br>● **地震などによる冷蔵庫の転倒防止の処置をする**<br>転倒し、けがの原因になります。 |

水ぬれ禁止

- **本体や庫内に水がかかるような使い方をしない**
  本製品は防水ではありません。浴室など極端的に湿度が高く、水がかかる可能性の高い場所では絶対に使用しない。本体の上に液体入り容器を置かないでくださいい。漏電や感電・火災の原因になります。

# 電源プラグ・電源コード・コンセントについて

禁　止

- **電源プラグや電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない**
  感電・発火・火災の原因になります。
- **電源プラグや電源コードを傷つけない**
  ねじる、束ねる、加工する、引っ貼る、無理に曲げる、挟み込む、重い物をのせる、火に近づけるなどしないでください。感電・発火・火災の原因になります。電源コードが破損したときは、使用を中止しお買い上げの販売店へお問い合わせください。
- **電源プラグを冷蔵庫の背面で押し付けない**
  感電・発火・火災の原因になります。

必ず守る

- **電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用する**
  感電・発火・火災の原因になります。
- **電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む**
  差し込みが不完全の場合、感電・発火・火災の原因になります。
- **電源プラグのほこりは定期的に取り除く**
  電源プラグのほこりなどは乾いた布で取り除いてください。ほこりに湿気が溜まり、絶縁が弱まり、火災の原因になります。お手入れの際には電源プラグを差し込み口から必ず抜いてください。

プラグを抜く

- **長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く**
  絶縁に弱まり、感電や漏電・火災の原因になります。
  お手入れの際には電源プラくを差し込み口から必ず抜いてください。
- **電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ずプラグ部分を持って引き抜く**
  電源コードの断線、感電やショートによる火災の原因になります。

ぬれ手禁止

- **ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない**
  電源プラグを水につけたり、水をかけたりしないでください。
  感電・火災の原因になります。

# ご使用のとき

禁　止

- **庫内で電気製品を使わない**
  感電・発火・火災の原因になります。
- **引火しやすいものは入れない可燃性スプレーを近くで使わない**
  引火・爆発の原因になります。
- **可燃性高圧ガスが入ったエアゾール缶のような爆発性物質を入れない**
  引火・爆発の原因になります。
- **医薬品や学術試料はいれない**
  温度管理の厳しいものは保存できません。
- **異臭・変色している食品は口にいれない**
  食中毒や体調を崩すおそれがあります。
- **冷蔵庫の上に不安定な物、特に水をいれた容器をおかない**
  落下によるけがの原因になります。
  漏電や感電、火災の原因になります。
- **製品やドアに乗ったり、ぶら下がったりしない**
  ドアが外れたり、本体が倒れてけがの原因になります。
  本体の故障の原因になります。
- **脱臭機などの電気製品を入れない製造業者が推薦するもの以外の、除霜を速めるための機械的な器具やその他の手段を用いないこと製造業者が推奨する電気機器以外，食品貯蔵庫内で用いないこと**
  感電や引火、爆発のおそれがあります。

分解禁止

- **分解・修理・改造しない**
  火災・感電・けが・異常の原因になります。また、保証対象外となります。修理について、お買い上げの販売店にご連絡ください。

接触禁止

- **冷凍室内の食品や容器（特に金属製のもの）には触れない**
  低温のため、凍傷になるおそれがあります。

水ぬれ禁止

- **本体や庫内に水をかけない**
  **電気絶縁が悪くなり、**漏電や感電、火災、故障の原因になります。

必ず守る

- **この機器は，安全に責任を負う人の監視又は指示がない限り，補助を必要とする人（子どもを含む）が 単独で使用しないでください。この機器で遊ぶことがないように、子どもを監視してください**

# ご使用のとき　つづき

禁　止

- **冷凍室にビン類を入れない**
  中身が凍って膨張し、容器が割れてけがをするおそれがあります。食品を棚より前に出しません。
- **ドアポケットの底面まで入らないボトル類は無理に入れない**
  ビン類などが引っ掛かって落下し、けがをするおそれがあります。

ぬれ手禁止

- **冷凍室の食品や容器（特に金属製）をぬれた手で触れない**
  凍傷のおそれがあります。

接触禁止

- **冷蔵庫の底面に手や足は入れない**
  鉄板の端面でけがをするおそれがあります。

必ず守る

- **引き出しの取り付け・取り外しには十分注意してください**

分解禁止

- **分解・修理・改造しない**
  火災・感電・けが・異常の原因になります。また、保証対象外となります。修理について、お買い上げの販売店にご連絡ください。

# ドアを開閉するとき

禁　止

- **ドアを強く開け閉めしない**
  食品が落下し、けがの恐れがあります。
- **ドアのヒンジに触れない**
- **冷蔵室ドアの側面に指をかけない**
- **冷凍室ドアに足を近づけない**
  指などをはさみ、けがの原因になります。
- **ドアにぶら下がったり、乗ったりしない**
  冷蔵庫が倒れたり、ドアがはずれたり、手をはさんだりしてしてけがする原因になります。

必ず守る

- **ドアを開閉するときや、他の人が冷蔵庫に触れているときは指などを挟まないように気をつける**

## 移動・運搬・設置するとき

禁　止

- **傷つきやすい床や、柔らかい床（クションフロアなど）の上では、保護用の板を敷く**
  床に傷をつけるおそれがあります。
- **車庫や小屋などでは使用しない**
  小動物などによって配線を傷つけられるおそれがあります。

必ず守る

- **運搬の際は必ず2人以上で本体を持ち上げて運搬する**
  ドアのヒンジ部を持たず、背面上部と前脚部を持って2人で運搬します。ほかのところを持つと手が滑ってけがをするおそれがあります。
- **庫内の食品はすべて取り出す**
  落下・破損・けがの原因になります。
- **床が丈夫で水平で安定した場所で使用する**
  不安定な場所で使用すると、製品が転倒して、けがの原因になります。
- **高温になる場所、直射日光があたる場所や暖房機器の近くには設置しないでくださいガレージや地下室、屋外で使用しない**
  故障の原因になります。

## 廃棄するとき

必ず守る

- **廃棄するときは、販売店や市町村に引き渡す**
  放置すると、冷媒漏れによる発火・爆発の原因になります。
- **リサイクルや保管するときは、必ずドアパッキンを外す**
- **幼児が遊び場所に放置しない**
  幼児が閉じ込められ、事故の原因になります。

## もしものとき

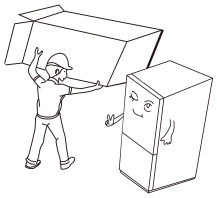
必ず守る

- **異常や故障のときは、電源プラグを抜き、運転を中止する**
  **感電・火災・けがの原因になります。**
  **お買い上げの販売店へ点検・修理を依頼してください。**
  異常・故障の例：
  - 電源コード・プラグが異常にあつい・焦げくさいにおいがする
  - 電源コードに深い傷や変形がある・ビリビリと電気を感じる
- **可燃性ガスが漏れたら、冷蔵庫やコンセントに触れずに、窓を開けて換気する**
  引火・発火・火災・爆発の原因になります。

# 2.　準備する

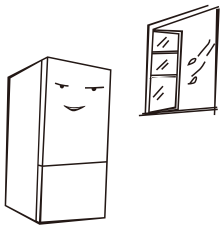
## 2.1 ご使用になる前の準備

- 使用前に、冷蔵庫内の底面パッド、発泡パッド、テープなどの梱包材をすべて取り除き、ドアと冷蔵庫本体の保護フィルムをはがしてください。

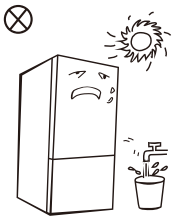


＊ドア、内箱の内側に小さな穴がありますが、不良ではありません。断熱材の発泡時に空気を抜くために使用した穴です（数ヶ所あります）。

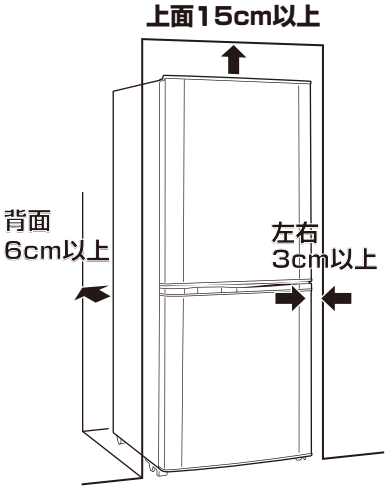
- 熱気・直射日光の当たらないところ風通しの良いところに設置してください。冷却力の低下を抑え、電気代のムダを防ぎます。



- 冷蔵庫の電気絶縁性に影響を与えないように、スプレーや水洗いをしないでください。また、水のかかりやすい場所には置かないでください。



- 下図のように、冷凍冷蔵庫の周囲に隙間をあけて、放熱をよくしてください。放熱が悪い場合に、冷却力が弱まり、電気代のムダになります。

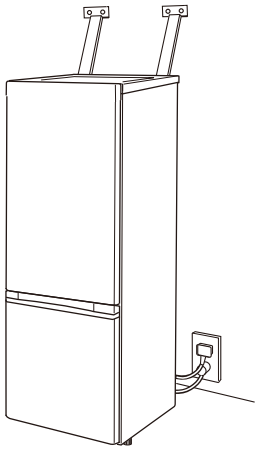



- ドアや引き出しを便利に開けるための十分なスペースを確保してください。

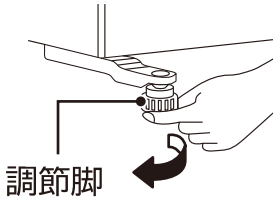
＊放熱による空気の流れで、周囲の壁が汚れ、変色することがあります。
＊図は必要最小設置寸法です。
（消費電力量測定時の寸法と異なります。）

## 2.2 据え付けるとき

- 据え付け前に、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 据え付け場所は床が丈夫で水平な所をおすすめします。じゅんたん、塩化ビニール製の床材のときは下に丈夫な板を敷いてください。
- 付属の防振ベルト固定金具を本体背面上部にネジで固定し、冷蔵庫本体を壁や柱などの丈夫な所に固定することをおすすめします。

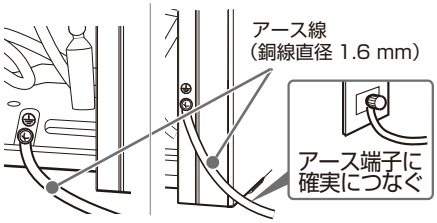


- 冷蔵庫前面下側の調節脚を回して固定します。本体を水平に設置するには、調節脚を回して調節してください。




## 2.3 アース線を取り付ける

- 本製品を使用する際は、必ずアースを取り付けてください。
- アースを取り付けないで使用すると、故障や漏電の際に感電するおそれがあります。
- アース線は付属しておりません。市販品でお求めください。
- 市販のアース線を用意し、背面下部のアース線取付用ねじとアース端子に接続する。

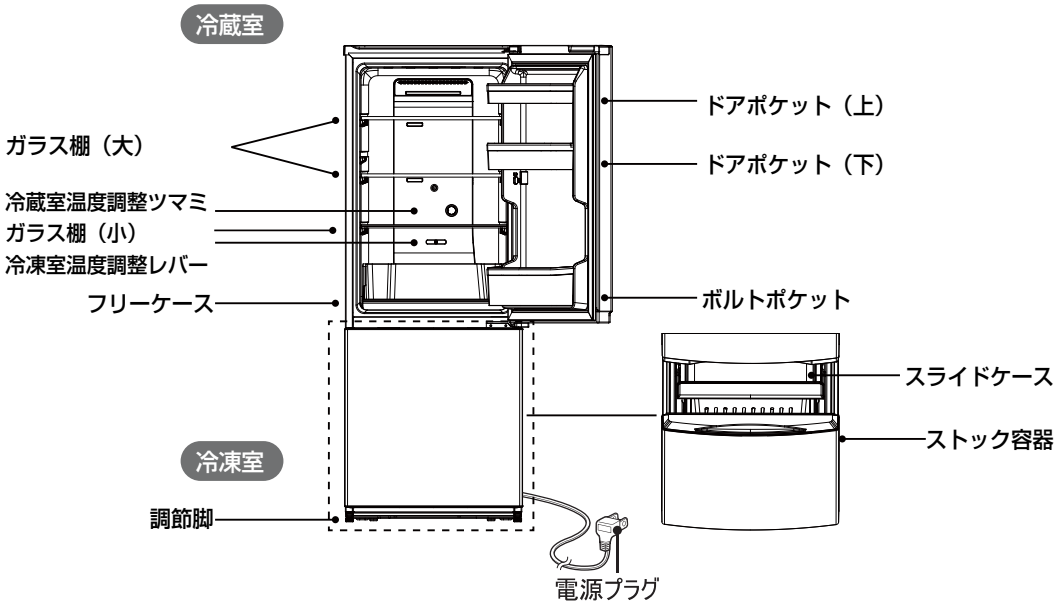



* 生産時期によってアース線取付用ねじの位置が異なりますのでご注意ください。

- 湿気の多い所、水気のある所に使うときは、アース・漏電遮断器を取り付けてください。アース端子がないとき、漏電遮断器の取り付けはお買い上げの販売店、または電気工事店にご相談ください。

**注:イラストは実際の製品と多少異なります。**

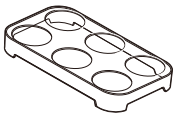
## 2.4 部品の名称



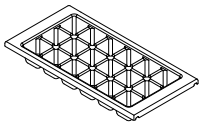

**＊上の画像はイメージです。実際の構成は、現物製品または販売店の規定により異なります。**
**＊ドア内側に小さな穴が数カ所ありますが、不良ではありません。断熱材の発泡時に空気を抜くのに使用した穴です。**
**＊使い始めは、ドアを開けると構造材のにおいがすることがありますが、使用するにともない消えますのでご安心ください。**

## ● 付属品

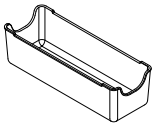
卵ケース



製氷皿



貯氷ケース



## ● 上手な使いかた

### 冷蔵室

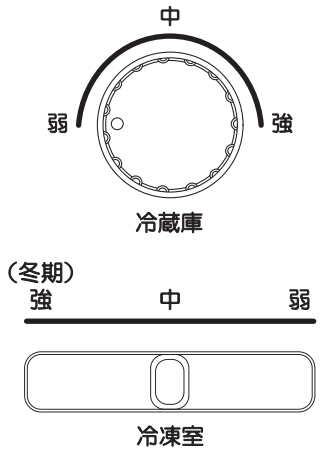
- 冷蔵室は短時間の食品を貯蔵しており、貯蔵期間は3~5日をおすすめします。
- 熱い物は冷ましてからいれてください。
- 匂い移りや乾燥を防ぎように、ポリ袋やラップに包むか、密閉容器に入れてください。
- 食品を入れるとき、隙間をあけ、奥の壁面を避けてください。
- 水分の多い食品はレイキ吹出し口付近を避けておいてください。

### 冷凍室

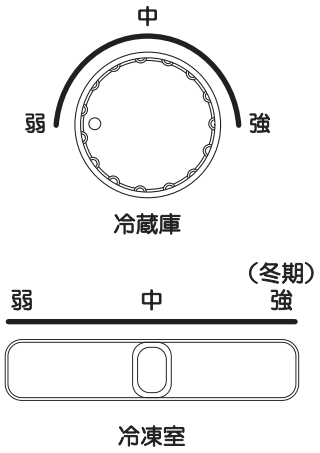
- 食品の鮮度を長時間保つことができ、主に冷凍食品の保管や製氷に使用されます。
- 肉塊は、素早く冷凍して手に取りやすいように、わけにすることをおすすめします。
- 冷凍室で保存するのに向かないもの
  乳製品（脂肪と水分が分離します。）
  水分の多い食品（豆腐、こんにゃく）。

## 2.5 温度調整について

- 本体は室内のつまみで、庫内の温度を調整します。




RCB156DS1JP(E)の温調仕様




RCB170DS1JP(E)の温調仕様

| | 冷蔵室 | 冷凍室 | ご注意 |
|---|---|---|---|
| 弱 | 「中」より約2℃高くなります。 | | 食品が少ないとき<br>冷えすぎるとき |
| 中 | 約2～5℃ | 約-18℃ | 通常のとき |
| 強 | 「中」より約2℃低くなります。 | | 食品が多いとき<br>食品を長期保存するとき |

※各温度は周囲温度32℃、冷蔵室･冷凍室ともに「中」に設定し、食品を入れずにドアを閉め、安定したときの目安値です。
＊出荷時は、「中」に設定されています。

### ※ご注意

・周囲温度が低い場所で使うと、冷凍室の冷えが弱くなる可能性があります。このようなときは周囲温度が10℃以上の場所でご利用いただくか、温度調整を「強」にしてお使いください。
･夏場の特に暑い時期にドア開閉を頻繁に行うことをしないでください。
･ドアポケットは上記の温度より少し高めになります。

# 3. お手入れ

## 3.1 全体の清掃

- 冷蔵庫の背面や地面のほこりを適時清掃することで、冷却効果の向上とエネ化を図ることができます。

- 本体・庫内・ドアパッキンの汚れは柔らかい布で乾拭きしてください 。汚れがひどい場合は、ぬるま湯か中性洗剤を布に含ませ拭き取ってください。中性洗剤を使った場合は、水を含ませた布で完全に拭き取り、さらに乾いた布で拭いてください。
- 棚や各ポケット類、各ケース類の汚れは、取り外して水洗いをし、乾いた布で水分を拭き取ってください。

- シンナー、ベンジン、アルコール、みがき粉、アルカリ性洗剤、たわしなどは使用しないでください。（塗装面や樹脂部が変色、変質する恐れがあります。）

- 化学雑巾でこすったり、長時間接触させたままにしておきますと、変質したり、塗装が剥げたりすることがありますのでご注意ください。

- 浸漬による短絡や電気絶縁への影響を避けるため、洗浄時に水などで直接洗い流さないでください。

**警告** 必ず電源プラグを抜いてください。感電することがあります。

## 3.2 霜取り

- 本製品は自動で霜取りをします。霜取りで発生した水は背面の蒸発皿に溜まり、蒸発します。

## 3.3 こんなときは

- 停電の時、ドアの開け締めを少なくし、新たな食品の保存を避けてください。
- 長時間使わないとき、電源プラグを抜いてから庫内を清掃し、2～3日間ドアを開けて乾燥させてください。乾燥が不十分な場合は、カビ、匂いの原因及び冷却器腐食による冷媒漏れの原因となります。
- 運搬するとき、軍手を着用して、2人以上で前面下部の脚部と背面上部をしっかり持ち、静かに運んでください。
- 2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの冷蔵庫を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

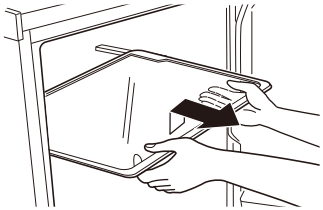
**警告** リサイクルなどの保管時に、幼児閉じ込みが心配される場合は、ドアパッキンをはずしてください。

**注意**
- お手入れは、電源プラグを抜いて行ってください。
- 水洗いはしないでください。

- 一度抜いた電源プラグは、すぐに差し込まないでください。
  コンプレッサーに負担がかかり、故障の原因になります。6分以上待ってから差し込んでください。

## 3.4 ガラス棚の取り外しかた

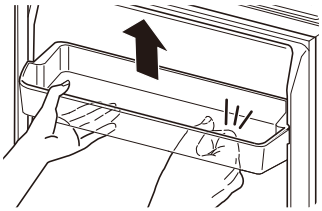
- 片方の手でガラス棚の下側を支え、少しにあげてゆっくりと手前に引き出してください。
- ガラス棚を取り外し、清掃します。



＊ 取り付けは、取り外しの逆の手順で行ってください。

## 3.5 ドアポケットの取り外しかた

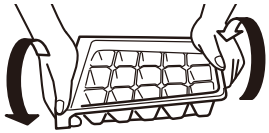
- 両手で持ち、上へ持ち上げで取り外してください。
  取り外しにくい場合は、底面を「トントン」とゆっくり突き上げて取り外してください。



＊ 取り付けは、取り外しの逆の手順で行ってください。

## 3.6 氷の作りかた

- 製氷皿の８分目ぐらいにまで水を注ぎ、冷凍室ないにおいてください 。水が多いと氷ははずれにくくなります。
- 製氷皿の両端を持って、軽くひねって氷を貯氷ケースに氷を落とします。



# 4.　お困りのときは

お困りの時は、次の点をお調べになり、それでも具合が悪い時はただちにご使用を中止し、お買上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

| | |
|---|---|
| 運転しない | 本製品が電源に接続されているか、プラグがしっかり差し込まれているか確認します<br>電圧が低すぎないか確認してください<br>停電していないか、一部の回路がトリップしていないか確認してください |
| 臭いがする | 臭いの強い食品は密閉包装してください。<br>食品が腐っていないか確認してください。<br>冷蔵庫の内部を掃除してください。 |
| コンプレッサーが長時間運転している | 周囲温度が高い夏場は冷蔵庫の長時間運転が正常です。一気に多くの食品を保存しないでください。<br>食品が冷ましてから、冷蔵庫に入れてください。<br>ドアを開ける頻度が高いこと有無を確認してください。ドアの開閉回数を少なめにしてください。<br>冷蔵庫が電源に接続されているか、照明ライトが破損していないか確認してください。 |
| ライトが点灯しない | 冷蔵庫が電源に接続されているか、照明ライトが破損していないか確認する |
| 音がうるさい | しっかりした床にガタつかないようすえつけられていますかを確認してください。<br>冷蔵庫が壁などに触れていませんかを確認してください。<br>冷蔵庫の周囲に容器などが落ちていませんかを確認してください。<br>圧縮機の動作音です。運転状況によって大きさが変わります。 |
| 庫内に露や霜が付く | ドアパッキンに汚れが付着したり、傷んでいませんかを確認してください。<br>ドアが何かが挟まっていたり、食品がドアに当たって半ドアになっているを確認してください。<br>雨の日など湿度が高いときにドアの開閉が多かったり、長く開けていませんかを確認してください。<br>水気の多い食品を入れているを確認してください。 |
| 外側が熱くなる | 冷蔵庫の側面には放熱パイプを内蔵して、露付けを防止しています。夏場では50℃～60℃となる場合もあります。使い始めや夏場は特に熱く感じることがありますが、異常ではありません。 |
| 外側に露付く | 周囲の湿度が高すぎる場合（梅雨の時）、冷蔵庫の外表面やドアパッキンに結露があります。きれいなタオルなどで拭き取ってください。 |
| 冷えが悪い冷えない | 使い始めの場合、冷えるまで4～10時間かかることがあります。夏場は24時間かかる場合もございます。<br>熱い物を入れていますかを確認してください。<br>食品をつめ過ぎたり、レイキの吹出し口やふさがっているを確認してください。冷蔵庫周囲の風通しが悪くなっています。据え付け状態が正しくか確認ください。 |

# 5. 仕様

| 種類 | | 冷凍冷蔵庫 | |
|---|---|---|---|
| 型番 | | RCB156DS1JP(E) | RCB170DS1JP(E) |
| 定格内容積 | 全内容積 | 153L | 170L |
| | 冷蔵室 | 110L<90L> | 127L<104L> |
| | 冷凍室 | 43L<31L> | 43L<31L> |
| 冷凍室の性能 | 記号 | ＊＊＊＊ フォースター | |
| | 冷凍負荷温度（食品温度） | −18℃以下 | |
| | 冷凍食品の保存期間の目安 | 約3か月 | |
| 定格電圧 | | AC100V | |
| 定格電源周波数 | | 50/60Hz | |
| 定格消費電力 | 電動機 | 70W | 70W |
| | 電熱装置 | 105W | 105W |
| 年間消費電力量 | | 304kWh/年 | 306kWh/年 |
| 外形寸法（幅×奥行×高さ） | | 479×582×1270mm | 479×582×1370mm |
| 質量 | | 40kg | 40.5kg |
| 電源コード長さ | | 2.1m | |

- 冷凍室の性能はJIS C9607に基づいて表示しております。
- 年間消費電力量はJIS C9801-2015年基づいて表示しております。実際にお使いになる時の消費電力量は周囲温度や湿度、ドアの開閉頻度、新しく入れた食品の温度や量などによって変化しますので目安としてください。
- 定格内容積の<>内は「食品収納スペース（実際に食品収納することができる空間の容積）の目安」を表示します。
- この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。またアフタサービスもできません。

# 6. 保証とアフターサービス

必ずお読みください。

## ■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

## ■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

## ■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

## ■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、9年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 型番 RCB156DS1JP(E),RCB170DS1JP(E)　冷凍冷蔵庫　保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

| | | | |
|---|---|---|---|
| お買い上げ日 ※<br>年　月　日 | | 保証期間　お買い上げ日より　**本体：1年間、特定部品：5年間**<br>本体：下記以外のすべての部品<br>特定部品：冷媒循環回路（圧縮機、凝縮器、冷却器、毛細管、配管） | |
| お客様 | お名前 | ※販売店 | 住所・店名 |
| | ご住所　〒<br>電話（　　）　- | | 電話（　　）　- |

販売店様へ：　※印欄は必ず記入してお渡しください。

## 保証規定

1 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理いたします。
2 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
3 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
4 ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼にならない場合には、cs_jp@feelcomfee.com にお問い合わせください。
5 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
　① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
　② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
　③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
　④ 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
　⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
　⑥ 本書の提示がない場合
　⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
6 本書は日本国内においてのみ有効です。
7 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

| 修理メモ |
|---|
| |

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

**愛情点検**

### 長年ご使用の冷凍冷蔵庫の点検を！

こんな症状はありませんか

- ●電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする
- ●本体に触れるとピリピリ電気を感じる
- ●運転中に異常な振動がある
- ●冷凍冷蔵庫床面にいつも水が溜まっている
- ●電源コードが傷ついている
- ●その他の異常や故障がある

▶ **ご使用中止**

故障や事故防止のため、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜き、必ず販売店に点検を依頼してください。

この商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談はEメールで受け付けております。商品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

[お客様相談室]
受付時間:平日10:00～12:00,13:00～18:00
TEL:0120-547-032（無料）FAX:050-8882-0952(有料)
お問い合わせ:cs_jp@feelcomfee.com

販売元：日本美的株式会社
大阪府大阪市港区弁天１丁目２－1大阪ベイタワー　10階